

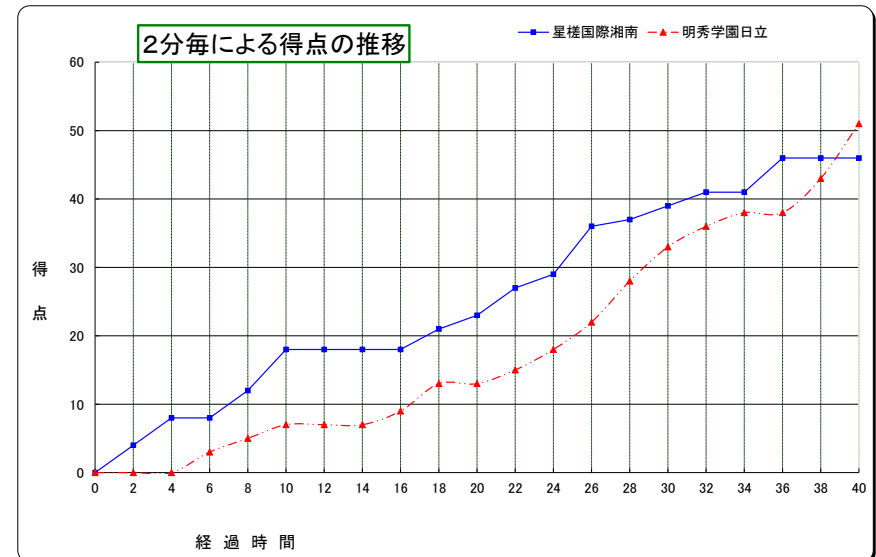
令和5年度 第34回関東高等学校 バスケットボール新人大会

令和6年2月3日(土)
カミケンシルドーム
1回戦

チームA			チームB
星槎国際湘南 (神奈川)	46	{ 18 1st 7 5 2nd 6 16 3rd 20 7 4th 18 }	51
			明秀学園日立 (茨城)

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
0	真垣 恋夢	0	0	1	0	8			3	1	7		1		2
1	田中 一花	16	0	2	6	13	4	6	2	2	7				6
2	早川 未羽	3	1	5	0	1									
4	小田木 紫音	0													
5	米山 心温	0													
6	小池 夏妃	8			4	9			4	2	8				
7	武田 あやめ	0													
8	込尾 桜咲	3	1	3	0	1			2		3				1
18	橋岡 翠	16			8	11			1	3	16				2
21	鈴木 梨里杏	0													
23	青木 陽愛	0			0	1			1		5				1
24	小林 楓梨	0													
46	宮川 瑠佳	0													
52	相上 輪央	0													
75	小曾根 沙都	0													
コーチ	原田 学														
		46	2	11	18	44	4	6	13	8	46	0	1	0	12
		確率	18.2%		40.9%		66.7%			計 54					

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	根岸 彩奈	5	1	15	1	7			2	2	8				1
5	蓮見 真帆	0													
9	大森 胡桃	2			1	4			1	5	2	1			
11	菅谷 奈々花	24	2	6	9	21	0	1	3	4	4	1		1	1
12	中村 風香	1	0	2	0	6	1	2	2	9	3	2			
13	塙 菜瓜	0													
15	三浦 胡桃	0													
23	工藤 爽	0													
25	佐々木 芽咲	0													
27	森田 莉緒	0													
31	大塚 衣清	0													
39	小田島 桜	5	1	7	1	8			1		1				
44	坂本 流唯	14	1	8	5	15	1	2	2	7	6	1		1	2
47	海老原 心菜	0													
51	鈴木 こころ	0													
コーチ	筑波 大														
		51	5	38	17	61	2	5	11	27	24	5	0	2	4
		確率	13.2%		27.9%		40.0%			計 51					



戦評

1Q、両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。星槎国際は#6のゴール下から先制点し#18のミドルシュートやジャンプシュートで得点を重ねる。明秀日立もシュートを打つが決まらず得点することができない。残り6分30秒で星槎国際#1がレイアップシュートを決め8-0明秀日立がタイムアウト。その後明秀日立#44のリバウンドシュートで初得点するが星槎国際#6のリバウンドシュートやゴールしたのシュートで得点し、18-7で11点差で星槎国際リードで1Q終了。

2Q、一進一退の攻防が続くが両チームともシュートが入らず5分間無得点と互いにリズムが作れない。明秀日立#9のゴール下のシュートが決まり、残り4分で星槎国際がタイムアウトを取るが得点することができず残り2分星槎国際#1がドライブインでFTを1本決め2Q初得点となった。その後も両チームともに得点に繋がらず、残り1分で明秀日立がタイムアウト。2Q、5-6とロススコアとなり23-13で10点差で星槎国際リードで前半終了。

3Qも両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。残り3分まで一進一退の攻防が続く、明秀日立も得点差を縮めることができず、タイムアウト。その後ディフェンスをオールコートマンツーマンに切り替えプレッシャーをかけたスティールをするがゴール下のシュートがごとごとく入らない。明秀日立#12がルーズボールでSS席に突っ込んでまで追いかけてマイボールにしリバウンドシュートを決める気迫あるプレーをみせるが5点差が続く。残り2分で明秀日立#11がターンシュートを決め3点差。#4が3Pシュートを決め同点に。たまたま星槎国際がタイムアウト。残り1分で明秀日立#11がリバウンドシュートを決めこの試合初めてリードを奪った。残り50秒で星槎国際もオールコートマンツーマンに逆転のチャンスを狙った。ラスト1プレーで星槎国際#0がドライブインにいったがシュートが決まらず、最後に明秀日立#39が放った3Pシュートが決まりブザービーターとなった。46-51と明秀日立が大逆転し勝利を収めた。